

認定生産方式革新実施計画の概要

2025年12月24日認定

搾乳ロボット・餌寄せロボットの導入と合わせて、それらの効果を十分に発揮するための、新たなフリーストール牛舎を導入することで、搾乳・餌寄せ作業を自動化。省力化により飼養数の拡大が可能となるため、経営規模が拡大し、収益性が向上。

経営上の課題

- 老朽化した既存施設で増頭を行ってきたことで、毎日の餌寄せと搾乳に要する作業時間が負担であり、スマート農業技術を活用した省力化を図る必要。
- 既存の牛舎では搾乳ロボットや餌寄せロボットを導入することが困難。

スマート農業技術の活用と、それに適した新たなフリーストール牛舎を導入する必要

計画の概要

スマート農業技術

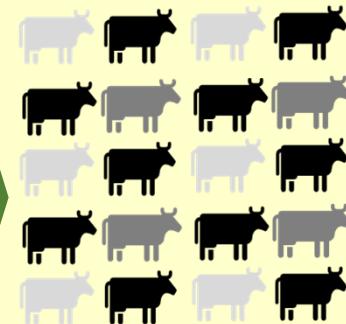
搾乳ロボット



餌寄せロボット



搾乳・餌寄せ作業の自動化



飼養頭数が増加

申請者：

有限会社佐藤牧場（北海道鹿追町）

対象品目：

生乳

スマート農業技術：

搾乳ロボット
餌寄せロボット

新たな生産方式：

搾乳ロボット・餌寄せロボットの導入に適した
フリーストール牛舎の導入

活用予定の支援措置：

税制特例

課題



既存牛舎では屋根の高さや通路幅が搾乳ロボット・餌寄せロボットの導入に適さない

新たな生産方式

ロボット導入に適したフリーストール牛舎



スマート農業技術の導入による効果が十分に発揮されることで経営が改善